



徳川家康と掛川城のかかわり

掛川城の戦いを中心に

若き日の徳川家康が遠江の覇権をめぐり、永禄11年(1568)、掛川城で展開した今川氏との戦いとはどのような戦いだったのか。戦いのようす、その背景、城郭と砦、最新の研究成果を交え、大河ドラマ「どうする家康」で時代考証を務める小和田哲男先生をはじめ豪華講師陣がわかりやすくマニアックに紹介します。



甲冑写真/徳川家康の金陀美具足(遠州掛川鑑屋)

日時 令和5年2月25日(土)
午後1時30分~4時30分
会場 掛川市生涯学習センター ホール
参加費 無料
募集人数 500名(応募多数の場合は抽選)

新型コロナウイルスの感染状況により定員調整させていただきますので、あらかじめご了承ください。

申込方法 1・2 いずれかでお申込みください。
※両方の申込みはできません。

その他 車でのご来場の際は、なるべく乗り合わせをお願いします。
駐車場は先着順となりますが、入りきらない場合は有料駐車場をご利用ください。

1. 往復はがき

- 往復はがきに、氏名(ふりがな)・年代・郵便番号・住所・電話番号を記入して下記へお送りください(1枚につき2名まで)。
- 送り先 〒436-8650 掛川市長谷1-1-1 掛川市観光交流課
- 応募締切 令和5年1月27日(金)
- 当選通知 令和5年2月10日(金)までに返信用ハガキにて当選をお知らせします。

2. Web申込

- QRコードからお申込みください。
- 応募締切 令和5年1月27日(金)
- 当選通知 令和5年2月10日(金)までにメールにて当選をお知らせします。



講師紹介



●小和田哲男(おわだてつお)

静岡大学名誉教授、文学博士/戦国史研究の第一人者執筆・講演活動のほか、NHK総合テレビ「歴史探偵」やNHK Eテレ「知恵泉」などの出演と解説も務める。NHK大河ドラマ「功名が辻」・「天地人」・「軍師官兵衛」・「おんな城主 直虎」・「麒麟がくる」などで時代考証を務め、2023年の「どうする家康」も担当。主著「後北条氏研究」・「近江浅井氏の研究」をはじめ「小和田哲男著作集」などの研究書および一般向けの著書の執筆に加え、書籍の監修も多数行っている。



●加藤理文(かとうまさふみ)

日本城郭協会理事、文学博士/城郭考古学の第一人者執筆・講演活動のほか、日本城郭協会理事として城郭をとおし歴史教育の普及に努める。主著「家康と家臣団の城」・「織田信長の城」・「日本から城が消える」



●大石泰史(おおいしやすし)

大石プランニング主宰/中世・戦国史研究家/今川氏研究の大家「おんな城主 直虎」の時代考証、「麒麟がくる」の古文書考証を務め、2023年の「どうする家康」の古文書考証も担当。主著「今川氏滅亡」・「城の政治戦略」・「井伊氏サバイバル五〇〇年」

[主催] 掛川市

[問合せ] 掛川市観光交流課

TEL.0537-21-1121 kanko@city.kakegawa.shizuoka.jp